

小倉ロータリークラブ 週報

RIテーマ：“奉仕しよう”

みんなの人生を豊かにするために”

RI会 長：シェカール・メータ 氏

(所属：インド、カルカッターマハナガルRC)

地区テーマ：“取り組もう 基盤強化と超我的奉仕”

地区ガバナ：貫 正義 氏(所属：福岡南RC)

クラブテーマ：“原点回帰！ 魅力ある楽しいクラブへ”
～会員増強とインパクトのある奉仕～

会長 杉 巖 / 幹事 佐竹 信也



表紙写真(テーマ/大濠公園能楽堂)

大濠公園能楽堂は、2年がかりの耐震工事を完了して、再オープンになりました。松の緑が新緑になりました。

【写真撮影：辰巳 和正 会員/令和4年1月8日/福岡市にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F

TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 委員長：城 健一郎

副委員長：竹中 休義

委員：久保田 彰、平野由太郎、藤澤 修司、安田堅太郎、伊藤 泰

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

🎉 本日の例会 第3500回 🎉

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “2700のマーチ”
- ・IAC卒業生表彰

第3497回 例会 記録

1月14日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・優良従業員表彰

会長の時間

杉 巖 会長

オミクロン株が急激に拡大していますので、緊急事態宣言が発令されそうな気配です。オミクロン株では、重症者は少ない様子ですが、感染力が強く、いつの間にか他人に移し迷惑をかける事もありますので気を抜く事なく今まで通りの万全の予防策を取って活動下さい。又、RCの出席についても自治体の指示が無くてもご本人が危ないと感じましたら無理に出席しなくても良いと思います。その時は、事前にご連絡下さい。最後は、「自分の身は自分で守る」しかありませんのでご理解の程よろしくお願いします。自治体では、経済活動を見捨てる訳にはいかないと思いますので判断が難しいでしょう。また、本日は優良従業員表彰式です。先程紹介をいたしました2名の方、ようこそ寒い中を当RCへ

お越しいただき有難うございます。後ほど表彰させていただきますので宜しくお願い致します。そして、来週の22日14時30分から、小倉東RCが主催で地区行事でありますIMが小倉ステーションホテルで行われますので、お間違えのないようにご出席をお願いします。

幹事報告

佐竹 幹事

・既にご案内しておりますとおり、来週21日(金)の例会は22日(土)に変更し、第2700地区第2グループのIMに参加します。開会は14:30、閉会は18:00の予定で、その後に懇親会がございます。受付は13:30からで、会場は、JR九州ステーションホテル小倉の5Fです。申し込まれた方は、どうぞよろしくお願いいたします。

出席報告

袖須 委員長

2021年7月1日：65名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ	出席率
当日の出席	67名	42名	—	73.68%
先週の出席	68名	47名	18名	95.08% 修正後

◆ゲスト 2名 (優良従業員表彰者)

◆ビジター 1名

・田代 充 氏 (八千代中央RC)



▶バナーを交換しました。

1月

お誕生日

おめでとうございます

親睦活動委員会 篠原 委員

Birthday

天ヶ瀬洋正	竹中 休義
上野 禮一	安田堅太郎
井出 智幸	村上 充生
三角 勝信	嶋岡 浩之



委員会報告

親睦活動委員会

篠原 委員

洗身会のご案内です。2月24日(木) 門司港の「あお木」にて開催します。時間が通常と異なり、18時スタートです。ふぐづくしのお料理となります。とても美味しいのでぜひご参加ください。なお、お店の定員により先着24名とさせていただきますのでご了承ください。コロナに関しましては、取り得る限りの対策をいたしますが、最終的な判断は執行部にゆだねます。どうぞよろしくお願いいたします。

加藤親睦活動委員長より、先週の「新年初例会」にご欠席された城会員に、還暦のお祝いが贈呈されました。



クラブ会報委員会

城 委員長

『ロータリーの友1月号』の紹介です。まず7頁に「コロナ禍における私の職業奉仕」という記事が掲載されています。ここでは鎌倉中央RCの取り組みとして在留外国人に対する物資支援を行ったことや、日系ペルー人女性の為に催した成人式のこと等が紹介されています。その他、19頁には第2820地区の取り組みとして「茨城発！世界に広がったロータリー奉仕デー」ということで、同地区の呼び掛けによって世界各地のRCが呼応し、3万人以上が登録して、海岸や河川をきれいにする「ロータリー地球保全プロジェクト」を行ったことが紹介されていますので、是非ご確認ください。

社会奉仕委員会

伊井 委員長

明日1月15日は早朝清掃を行います。朝6時に小倉駅南口1Fモノレール側にお集まりください。清掃時間は30分程度です。感染予防の観点から、軍手をご持参いただくことを推奨しています。お車でお越しの際は、ステーションホテルの駐車場が開放されていますので、そちらをご利用ください。また、小倉RCのジャンパーをご着用いただければと思います。

ニコニコ献金

藤澤 副SAA

8,000円 : 累計金額 226,000円

柚 巖 君

- ①優良従業員表彰の2名の方、誠におめでとうございます。
- ②八千代中央RCの田代会員、遠い所をようこそお越し下さいました。

辰巳 和正 君

- ①1月8日ゴッホ展でヨットの絵を発見、クリアファイルを購入！
- ②1月8日大濠公園能楽堂で野村万作さんの卒寿記念公演を人間国宝福島善三さんと一緒に楽しみました。

加藤 守夫 君

お陰様で新年会が無事におわりました。皆様のご協力に感謝致します。

上野 禮一 君

86回目の誕生日の記念として。

優良従業員表彰

九州電力送配電(株)

北九州支社配電部配電グループ 課長 山下光二 氏



私は、小倉北区末広町で少年時代を過ごし、私のもう一つの顔である小倉祇園太鼓に触れました。その後、引っ越して疎遠になっていましたが、昭和58年に地域社会に貢献したいと電力インフラである九州電力に入社しました。昭和63年、当時の松本支店長が地域の皆さまからのご要望により、当社も小倉祇園太鼓祭りに参加しようという事になりました。社内で太鼓を叩ける人や小倉北区出身者の募集があり、人を集めて当社も小倉祇園太鼓祭りに参加することになりました。当時は、まだ企業名での参加は認められていなかったため、「大阪町東」という旧町内名で参加しておりました。

その後、平成14年にそれまで小倉祇園太鼓祭りを主催しており、小倉城にありました第3セクターの「小倉開発」が解散となり、私たち町方といわれる町内会や企業・太鼓の会員自らが小倉祇園太鼓保存振興会を継承

し、自主的に祭り運営をすることになりました。私はそれまで、当社の小倉祇園太鼓実行委員会の委員長を務めていましたが、この機会に後輩に当社の祭り運営の道を譲り、思い切って新しく発足した小倉祇園太鼓保存振興会の委員になり、祭り運営の裏方に専念する事になりました。そして、企業名での参加が認められる事になり、「九州電力」の名前で一般の部に参加し続け、準優勝や三位は何度も受賞しましたが、まだ優勝は受賞した事はありません。いつか優勝し次年度は審査員席で審査をする事が私の夢です。井筒屋さんや附属小学校さんに追いつけ、追い越せと練習に励んでいる所です。現在の私の保存振興会での立場ですが、10 ある委員会の中の交流委員長として保存振興会の理事を務め、祭り運営や、各種派遣事業、祭りの PR に日々励んでいます。

一番の思い出は、令和元年に、保存振興会の長年の夢でありました国指定無形民俗文化財に指定され、祭りの 400 周年とも重なり、まさに、このリーガロイヤルホテルで当時の小川知事や北橋市長等、北九州市内外の財界・経済界の方々や保存振興会の会員等総勢約 400 名で祝賀会を、私が総責任者として汗をかけた事です。

また、保存振興会の仕事だけではなく、色々な所からの太鼓披露の依頼が当社にも来るようになり、1999 年までは九州電力小倉祇園太鼓同好会で太鼓を披露していましたが、活動しやすく新しい名前でごえ太鼓チームを作ろうという事になり、2000 年からは「電松会」として病院や老人ホームの慰問活動、結婚式等地域での行事での太鼓披露を行っています。「電松会」の電は勿論、電気の電、松は九州電力が小倉祇園太鼓を始めるきっかけになった元支店長の松本の松、を頂いて「電松会」としました。

体力の続く限り今の活動を続けていこうと思いますが、後を引き継ぐ後輩を作るのも、これからの私の大切な仕事だと思います。この歴史と伝統ある小倉祇園太鼓を次の世代に引き継ぎ、後世に末永く残っていく組織作りと人材づくりを私の目標にしていこうと思います。地域社会に貢献したいと思い、九州電力に入社しましたが、電力インフラと共に小倉祇園太鼓の活動を通して地域社会の活性化と青少年の健全な育成など、これからも地域社会に貢献していく所存です。

西日本電信電話(株)

門司電気通信レトロ館 館長 江後紀久子 氏



私の入社は NTT 民営化 3 年目の昭和 63 年、下関支店での配属でした。その後、山口・広島・大阪と異動しつつ、財務を主軸として、会計制度見直しや決算業務の他、NTT グループの分割・再編等、度重なる事業運営体制見直しの対応に携わって参りました。そして、現在は NTT 西

日本が運営管理する電信電話の博物館「門司電気通信レトロ館」で館長として、日々ご来館者をお迎えし、電信・電話の歴史を若い世代に繋いでいく役割を担っています。

レトロ館について紹介します。当館建物は大正 13 年築、門司で最初の鉄筋コンクリート造りで、後に日本武道館や京都タワーも設計した山田守氏によるものです。門司港レトロに調和するこの建物を活かして、電信・電話の古い設備や過去を語る史料を保存・展示する博物館として平成 6 年に開設されました。館内には、「グラハム・ベル電話機」を始め、「国産第 1 号電話機」など、明治から現代に至るまでに活躍してきた電信・電話機等が並び、街角で親しまれてきたカラフルな公衆電話機は、昭和の懐かしさに溢れています。

また、展示を見るだけでなく、体験ができることも当館魅力の一つです。明治 23 年に東京～横浜間で電話交換業務が始まった当時のように「磁石式手動交換機」を使って交換手の体験をしたり、ダイヤルの動きに合わせて接続される「自動交換機」の仕組みを間近に見たり、本物の電鍵でモールス信号にチャレンジしたりすることも出来ます。

ご来館者は観光客を始め、歴史好き、アンティーク好き、交換機などの機械に精通するマニアの方等、世代を問わず、それぞれの切り口、様々な角度から楽しまれています。小中学校からの社会科見学も多いですが、生まれながらのスマホ世代です。ダイヤルの回し方はもちろん、「受話器」という言葉すら知らない子供達が、黒電話機で喜々として会話する姿や何かを発見した驚きの瞬間に立ち会えることは、電信・電話の歴史伝承を担う私にとって何にも代えがたい喜びです。一方、NTT 西日本の使命として、災害時や緊急時にも役立つ「公衆電話」や「災害用伝言ダイヤル(171)」等の使い方を伝えることも大切な務めです。また、日本で唯一、アナログ交換機を動態保存する等、歴史的にも技術的にも価値ある設備を残しつつ、将来に向けて保存するための取組みも喫緊の課題と認識して進めています。

貴重な保存品と、ご来館者に喜んでいただけるポテンシャルを持ちながら「建物は知っていたけれど、中が博物館だとは知らなかった」と言われる方が多く、北九州市の観光関連施設や組織の皆様を知っていただけるよう取り組んでいる途上です。「地域活性化」という同様の思いで、逆にお声掛けをいただく機会も増え、自然と連携が生まれ、観光客の回遊性の向上にも繋がっているように思います。コロナ以前を上回るご来館者にお越しいただいており、更に観光拠点として、県外からも沢山の方々に北九州の地へ足を運んでいただき、地域に貢献できるように励んでいく所存です。

このように活躍の場を与えていただいておりますが、学生時代に車椅子を使うようになった私がこれまで歩んできた道のりについてお話させて下さい。私は採用時から今日まで、会社にはチャンスを与え続けてもらってきました。入社後 2 年間に渡る職場ローテーション研修では、ヘルメットを被り高所作業車に乗って、電柱上の作業を経験したり、クレーン車を使ってマンホー

ルに降ろされて、ケーブル接続箇所の点検をしたりと、他の同期社員と同じ経験をしました。上司からの「全ての機会は同等に与える。出来ないことは出来ない伝えてほしい。どうやったら解決できるか一緒に考えよう」との言葉が私の励みになりました。転勤の際、いつも課題となったのは自宅のバリアフリー化です。そのような配慮や設備投資ほどの期待に応えられるのかとプレッシャーを感じたことも事実です。しかし「この改造はあなたのためではない。あなたに続く社員のためだ」という言葉が次のステップに繋がりました。

また、2006 年、当時まだ少数だった女性管理者として任用され、20 数名の担当に着任したものの、私の年齢は下から 3 番目とかなり難しい立場に置かれたこともありました。それでも支えられたのはメンバーからの「女性とか若いとか関係ない。管理者として機能してくれば良い」という言葉です。いつも多くの理解と支えをいただいて今日あることは感謝でもあり、私にとっての誇りでもあります。

現在、当館で多くのご来館者をお迎えしていますが、展示品や体験だけでなく、車椅子で働く私に興味を持ち話しかけてくる子供も少なくありません。多様性が求められる社会の中で、私を通じて何か感じ得るものがあれば、それもまた大切な副産物と思えます。そのような気概を持って、これからも私らしく小さな貢献を地道に重ねてまいりたいと思っています。

第 7 回定例理事会 報 告

<審議事項>

1. 名誉会員の件 … 承認

- ・望月 聖史 氏 福岡県警察小倉北警察署長（梶原浩二氏の後任）、警視正

*今後について

名誉会員の選任は、新規・後任にかかわらず、まず理事会に諮った上で本人に話すようにすることを確認した。

2. 2022-2023 年度第 2700 地区インターアクト

地区委員選出依頼の件 … 承認

- ・来年度から9年間の地区IAC指導者講習会と年次大会の担当校が決まっていて、地区はその提唱RCに委員選出を依頼している。
- ・小倉工高が2025-2026年度のIAC指導者講習会の担当（ホスト）校。
- ・地区は、担当する年度の前後2年を合わせ最低5年間は委員の選出を希望している。

→ 八尋会員にお願いすることとなった。

3. 研修リーダー選任の件 … 承認

- ・坪根次期会長が出席した次年度研修の中で、各クラブに研修リーダーを選任するよう依頼があった。

→ 佐竹会員にお願いすることとなった。

<協議事項>

1. クラブ・フォーラム議題の件

(案)「クラブに対するご意見・ご要望はありますか？」

趣旨：例会や行事・委員会等について提案や質問を出してもらい、より楽しく充実したクラブ運営に繋げる。

- 例：例会 頻度、開催曜日・時間、卓話、食事、テーブル（座席）
行事 こんな行事があったら／開催の場所
委員 こんな委員会があったら／アノ委員になりたい

- ・クラブやロータリーのここ ①が分からない ②は変わってほしい

<報告事項>

1. 退会会員の件（1名）

- ・寺澤寛幸会員
(株)三菱UFJ銀行 北九州支店 支店長
… 1/7 付、転勤のため

2. 12 月度会計報告

3. 1 月・2 月行事予定

1 月・2 月の例会及び行事予定

1 月 《職業奉仕月間》

7 日(金) … 新年初例会 《夜間例会》

場 所：松柏園ホテル

時 間：18 時 30 分

会 費：年会費と一緒に頂いております。

14 日(金) … 優良従業員表彰

《普通例会》〔定例理事会〕

15 日(土) … 早朝清掃 《小倉駅前早朝清掃》◎

場 所：小倉駅前

時 間：6 時集合

15 日(土) … R 財団資金管理セミナー 《地区行事》◎

場 所：ソフトリサーチパーク 又はオンライン

時 間：開始 13 時 / 終了 16 時

出席者：坪根副会長

21 日(金)→22 日(土) … IM(インターシティミーティング)

《例会・地区行事》

ホスト：小倉東 RC

場 所：JR 九州ステーションホテル小倉

時 間：開 始 14 時 30 分 / 閉 会 18 時

懇親会 18 時 30 分～20 時

登録料：徴収しません 懇親会：7,000 円

23 日(日) … ロータリー・リーダーシップ 研究会 (RLI) 次年度

会長・幹事研修会①《地区行事》◎

場 所：オンライン

時 間：開始 9 時 30 分 / 終了 17 時

出席者：坪根副会長、高山副幹事

28 日(金) … 職場例会

《職場例会》

場 所：松柏園ホテル

時 間：12 時 30 分～13 時 30 分

2月《平和と紛争予防/紛争解決月間》

4日(金) … IAC 卒業生表彰《普通例会》[定例理事会]
6日(日) … ローターリー・リーダーシップ 研究会(RLI)次年度会長・幹事研修会② 《地区行事》◎

場 所：オンライン
時 間：開始 9時30分 / 終了 17時
出席者：坪根副会長、高山副幹事

11日(金) … 祝日

18日(金) … 小倉 5RC 合同例会 《合同例会》

ホスト：小倉 RC
場 所：リーガロイヤルホテル小倉
時 間：12時30分～13時30分

19日(土) … 早朝清掃 《小倉駅前早朝清掃》◎

場 所：小倉駅前
時 間：6時集合

20日(日) … ローターリー・リーダーシップ 研究会(RLI)次年度会長・幹事研修会③ 《地区行事》◎

場 所：オンライン
時 間：開始 9時30分 / 終了 17時
出席者：坪根副会長、高山副幹事

24日(木) … 洗身会 《親睦行事》◎

場 所：あお木
時 間：18時～ / 会費：10,000円

25日(金) … クラブ・フォーラム 《夜間例会》

場 所：リーガロイヤルホテル小倉
時 間：18時30分～
会 費：2,000円

※この後、2月の予定は一部変更となっています。

小倉駅前早朝清掃 報告

日 時：1月15日(土) 6時～

参加者：柚、佐竹、伊井、伊藤家族、大川、甲木、雲田、篠原、城、角南、田中(幸)、松本、安田、八尋、柚須、渡辺

小倉工業高等学校 IAC 顧問・生徒



2022年最初の小倉駅前早朝清掃は、会員16名、伊藤会員のご家族3名、小倉工業高校 IAC の生徒と先生10名の総勢29名と多くの方に参加いただきました。気温0℃という厳しい寒さの中での奉仕活動となりましたが、参加者の心は「ほっくり温かく」なったことと拝察します。福岡県でも「まん延防止等重点措置」が適応され2月の早朝清掃は中止となりますが、3月には再開できることを願うばかりです。【報告：伊井 雅明】

第3498回 例会 記録

1月22日(土) IM

於：JR九州ステーションホテル小倉

・第2グループ インターシティ・ミーティング

・ホスト：小倉東 RC

現地参加と YouTube でのオンライン配信のハイブリッド開催

出席報告

柚須 委員長

2021年7月1日：65名でスタート

	会員数	出席者数	マークアップ	出席率
当日の出席	67名	30名	—	55.56%
先週の出席	67名	42名	19名	89.47% 修正後

◆来賓 7名

・RI 第2700地区ガバナー 貫 正義 氏
・RI 第2700地区ガバナーエレクト 西島 英利 氏
・RI 第2700地区パストガバナー 原田 光久 氏
・RI 第2700地区パストガバナー 岡野 正敏 氏
・RI 第2700地区第1G ガバナー補佐 志村 俊郎 氏
・RI 第2700地区第3G ガバナー補佐 田代 恵祐 氏
・ガバナー事務所事務局長 重富敢二郎 氏

◆講師 1名

・齋藤 貞之 氏(北九州市立大学名誉教授)

◆ゲスト 1名

・RI 第2700地区 地区会計長 林 弘己 氏

◆第2グループ RC

◆ビジター 10名(サインのみ)

インターシティ・ミーティング

開会セレモニー 14:30～15:05

講演 15:05～16:15

開会セレモニー 17:20～18:00

懇親会 中止



第3499回 例会 記録

1月28日(金) 職場例会

於：松柏園ホテル

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・会員卓話
(株) サンレー 代表取締役社長
佐久間 庸和 氏



会長の時間

杉 巖 会長

皆様、先週は、IMにご出席頂き有り難うございました！参加人数は思ったより少なかったですが、この状況下では仕方の無いと思います。北九大の斎藤先生の講演は、哲学的な話で難解でしたが、たまには畑違いの話も聴いてみるものだと思います、最後まで興味深く拝聴しました。さて、オミクロン株の爆発的な感染拡大で、とうとう「コロナ警報」から「特別警報」に切り替わり、今後の対策も段々と厳しい方向になる様子です。どうぞ県の指針に沿った行動をお願いします。小倉RCとしては、指針に沿った活動を目指しつつ、社会活動としても前向きに捉えていきたいと思っています。後は自己責任と判断で慎重に行動されて下さい。当クラブの行事ですが、2月18日に開催予定の5RC会合例会は中止し、普通例会と致します。又、早朝清掃は中止、洗身会も延期する事に致しました。このような状況の中、佐久間会員、本日は職場例会をお引き受け頂き有り難う御座います。又、お食事も素晴らしく美味しく頂きました。

幹事報告

佐竹 幹事

・来週の例会は、ホテルの都合により、会場が4Fのロイヤルホールとなります。また、本日と同様、まん延防止等重点措置により、1テーブルに4人掛けとし、お席は自由といたします。

・来週の例会は第3500回です。これを記念して、ご出席の皆さんにお土産を用意しますので、是非ご出席ください。

・合同例会は普通例会に変更し、当初の予定通り、当クラブ名誉会員の川原さんに、『北九州からアフリカへの国際協力！』というテーマで卓話をしていただきます。

出席報告

濱田 委員

2021年7月1日：65名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ
当日の出席	67名	32名	—
先週の出席	67名	30名	28名

◆ゲスト 0名

◆ビジター 2名

・松田 哲男 氏 (小倉西RC/サンレー社員)

・山下 格 氏 (小倉南RC 入会予定/サンレー社員)

◆ビジター (サインのみ) 4名

◆名誉会員 1名

・川原 尚行 氏

ニコニコ献金

宮島 副SAA

7,000円 : 累計金額 232,000円

村上 充生 君

①年男を祝っていただき、1月の誕生日のお祝いもいただき、重ね重ねありがとうございます。

②ごくごく微量のガス漏れがあるとのこと、境内地を掘削し無事復旧。西部ガス関係者の方々、寒い中ありがとうございました。

松本 篤 君

先月の年忘れ家族夜間例会の際、棟安会員のご案内により申し込んだ“リーガメンバーズ登録キャンペーン”で、何と「タワーフロアペア宿泊券」が当たりました。この4月から、息子が就職で家を離れることで、ついに夫婦二人暮らしとなります。今さらパワーバランスの変わりようはありませんが、少しでも名誉が回復できるよう、このカードを使わせていただきます。ありがとうございました。

米山記念奨学会からの表彰

小島 地区米山記念奨学委員

米山記念奨学会より、功労者の感謝状が贈られました。

◎加藤 守夫 会員 (第3回マルチプル)



米山功労者
個人の特別
寄付の累計
10万円毎に
感謝状が贈
られます。

会員卓話

(株) サンレー 代表取締役社長

佐久間 庸和 氏

『サンレーズ・アンビション』



アンビションとは「大志」のことですが、わが社は「サンレーズ・アンビション」として、「天下布礼」を進めています。具体的には「社会貢献」「有縁社会再生」「老福社会実現」「グリーンケア」の4つのカテゴリーで数多くのプロジェクトを推進しています。

まず、わが社では今年から児童養護施設に入居している新成人に晴れ着などを提供し、記念の写真を撮影する取り組みを始めました。昨年12月、北九州市の児童養護施設で暮らす新成人2人が、松柏園ホテルで晴れ着を選び、北九州市の成人式式典には、この晴れ着で出席されました。また、わが社は同様に経済的理由から七五三の晴れ着撮影ができない北九州市内の6児童養護施設の児童に対しても、今年から晴れ着の提供を呼びかけ、計28人の児童が七五三の晴れ着姿を撮影しました。

さらに12月に、わが社が指定管理者を務める天然温泉「ふるさと交流館 日王の湯」(田川郡)で「子ども食堂」を開催し、小中学生を無料招待しました。これらの活動は大きな話題となり、取材の申し込みが相次ぎました。取材ではよく、「なぜ、このような社会貢献事業をされるのですか?」という質問があります。わたしは、「わが社の本業である冠婚葬祭互助会はソーシャル・ビジネスだからです」とお答えしています。ソーシャル・ビジネスとは、高齢者や障がい者の介護・福祉、子育て支援、まちづくり、環境保護、地域活性化など、地域や社会が抱える課題の解決をミッション(使命)として、ビジネスの手法を用いて取り組むもの。「人間尊重」としての礼の精神を世に広める「天下布礼」の実践です。

晴れ着の無料レンタルは、儀式というわが社の本業というべきものの意味と価値を世に広く問うものです。七五三は不安定な存在である子どもが次第に社会の一員として受け容れられていくための大切な通過儀礼です。成人式はさらに「あなたは社会人になった」というメッセージを伝える場であり、新成人はここまで育ててくれた親や地域社会の人々へ感謝をする場です。長寿祝いも含めて、すべての通過儀礼は「あなたが生まれたことは正しい」「あなたの存在と成長をこの世界は祝福している」という存在肯定のセレモニーです。万物に光を降り注ぐ太陽のように、サンレーはすべての人に儀式を提供する志を抱いています。

これらの一連の活動は、SDGsにも通じています。SDGsとは「持続可能な開発目標」という意味ですが、要するに社会を持続させるために必要なことを実行すること。そして、冠婚葬祭互助会は社会を持続させるシステムそのものであると考えます。結婚式は、夫婦を生み、子どもを産むことによって人口を維持する結婚を根底から支える儀式です。一方で葬儀は、儀式とグリー

フケアによって死別の悲嘆によるうつ、自死などの負の連鎖を防ぐ儀式です。冠婚業も葬祭業も単なるサービス業ではありません。社会を安定させ、人類を存続させる文化装置です。

そして、互助会の根本理念である「相互扶助」は、社会の持続性により深く関わります。貧困ゆえに入浴の習慣を知らない小学生がいるという。また、一日に一回しか食事ができない子どもがいるという。その事実を知り、「なんとかしなければ!」と強く思いました。SDGsは環境問題だけではありません。人権問題・貧困問題・児童虐待・・・すべての問題は根が繋がっています。そういう考え方に立つのがSDGsであるわけです。その意味で入浴ができない、あるいは満足な食事ができないようなお子さんに対して、見て見ぬふりはできません。「相互扶助」をコンセプトとする互助会こそはソーシャル・ビジネスであるべきです。

コロナ禍という想定外の大事件によって、社会は一変しました。これまでのように「ただ儲ければいい」「ただ売上と利益さえ追求すればよい」という商売の仕方では通用しません。これからの企業に求められるものは「M&A」ではないでしょうか。M&Aの「M」とは「Mission(ミッション)」のことです。そして、「A」とは「Ambition(アンビション)」のことです。すなわち、サンレーの「M&A」は「使命」と「志」のことです。

会社人として仕事をしていく上で「ミッション」が非常に大切です。ミッション経営とは、社会について考えながら仕事をするということであると同時に、お客様のための仕事を通して社会に貢献することです。要するに、お客様の背後には社会があるという意識を待たなくてはなりません。そして、ミッションと並んで会社人に必要なものが、アンビション、つまり「志」です。志とは何よりも「無私」であってこそ、その呼び名に値します。

「自分が幸せになりたい」というのは夢であり、「世の多くの人々を幸せにしたい」というのが志です。夢は私、志は公に通じているのです。自分ではなく、世の多くの人々、「幸せになりたい」ではなく「幸せにしたい」、この違いが重要なのです。

わが社には無縁社会を乗り越え、有縁社会を再生するという志、グリーンケアによって世の人々の悲嘆を軽くするという志、そして冠婚葬祭という儀式で日本人を幸福にするという志があります。すなわち、「天下布礼」という大志です。今後は、ますます「ハード」よりも「ハート」、つまりその会社の「想い」や「願い」を見て、お客様が選別する時代に入ります。サービス業からケア業への進化を目指すサンレーは「天下布礼」の大志を抱きながら、新しい時代を創造していきたいと思えます。

次回例会予告

2月18日(金) 普通例会

・ロータリーソング “我等の生業”

・会員卓話

認定 NPO 法人ロシナンテス 理事長

川原 尚行 氏

『北九州からアフリカへの国際協力!』